

第4学年「算数科」シラバス

4年生ではこんな学習をします

学習の目標

除法についての理解を深め、適切に用いることができるようにします。
 小数及び分数の意味や表し方について、理解できるようにするとともに、小数の加減乗除の意味について理解し、それらの計算の仕方を考え、適切に用いることができるようにします。
 概数について理解し、目的に応じて活用したり、計算の結果の見積もりをしたりすることができるようにします。
 面積の意味について理解し、簡単な平面図形の面積を求めることができるようにするとともに、角の大きさの意味について理解できるようにします。
 図形を構成する要素に着目して、基本的な図形についての理解を深めることができるようにします。
 数量やその関係を式やグラフを用いて表したり考察したりできるようにするとともに、目的に応じて依存関係を調べたり分類したりすることができるようにします。

学習の方法

課題に対して、既習事項をもとにして解決できるように、一人ひとりが見通しをもつ時間を設けるようにします。
 具体的な算数的活動を通して、課題解決に当たるように工夫します。
 習得した知識や技能の習熟を図るよう、継続的に練習の機会を設けるようにします。
 一人ひとりの考えを出し合って、全体の考えが深まっていくようなコミュニケーションの場を設けるようにします。

学習の評価

算数科では、次の観点で評価します。
 「算数に関心をもち、進んで取り組もうとする。」
 授業への参加態度、提出物、発表等
 「数学的な考え方を身に付け、見通しをもち、筋道を立てて考える。」
 行動観察、発表、提出物、テスト等
 「数量や図形について、表現や処理にかかわる技能を身に付けている。」
 行動観察、発表内容、ドリル学習、テスト等
 「数量や図形についての豊かな感覚をもち、それらの意味、性質などについて理解している。」
 行動観察、発表、提出物、テスト等

年間の学習計画

	学習する単元	学習の内容
前 期 85 時 間	1 大きな数のしくみ	億、兆などの単位を知り、十進位取り記数法のしくみを通して、大きな数の表し方、大小比較のしかたを理解することができるようにします。
	2 角の大きさ	角の大きさについて理解し、それを測定したり、作図したりすることができるようにします。
	3 わり算の筆算(1)	(2・3位数)÷(1位数)の筆算及び確かめのしかたを理解できるようにします。
	4 垂直・平行と四角形	垂直や平衡の意味や性質について理解し、それらを、作図することができるようにします。 台形、平行四辺形、ひし形の定義や性質を理解し、形を書けるようにします。
	5 折れ線グラフ	折れ線グラフをよんだり、かいたり、変化を考察したりできるようにします。
	6 そろばん	簡単な加減ができるようにします。
	7 小数のしくみ	小数の位取りの原理や小数の構成、小数の10倍や小数の1/10にしたときの表し方、小数の加法・減法やの計算ができるようにします。
	8 わり算の筆算(2)	(2・3位数)÷(2位数)の計算のしかたを理解し、用いられるようにすると同時に、除法に関して成り立つ性質を知り、計算の方法や答えの確かめに使えるようにします。
後 期 90 時 間	9 整理のしかた	資料を落ちや重なりがないように分類し、表にまとめることができるようにします。
	10 計算のきまり	四則の混合した式や()を用いた式について理解し正しく計算できるようにします。 交換法則・結合法則・分配法則を理解できるようにします。
	11 面積のはかり方と表し方	面積の意味や単位について理解し、正方形及び長方形の面積の求め方を考え、それらを用いて面積を求めることができるようにします。
	12 分数	真分数・帯分数・仮分数の意味を理解することができるようにします。
	13 変わり方調べ	分数の相等関係と同分母分数の加減を理解する。 2つの数量の対応関係を表にしたり、やを用いて式に表したりすることができるようにします。
	14 がい数の表し方	概数の意味及び四捨五入や切り下げ、切り捨てによる概数の作り方を理解することができるようにします。
学年のまとめ	15 小数のかけ算とわり算	和差積商の見積もりができるようにします。 小数の加法・減法や小数×整数や小数÷整数の計算のしかたを考え、それらの計算ができるようにします。
	16 直方体と立方体	直方体と立方体の概念、特徴、性質を理解するとともに見取り図、展開図をかくことができるようにします。 平面上や空間内の点の位置の表し方を理解することができるようにします。 本学年で学習したことのまとめをします。